

第55回熊本県高等学校保健研究協議大会報告

熊本県高等学校保健会理事長 村田 法大

県内各地から校長先生をはじめ教職員及びPTA役員の皆様、124人の参加を得て、第55回目の熊本県高等学校保健研究協議大会を開催しました。大会の開催にあたり、御指導、御支援を頂いた熊本県教育委員会をはじめ、三師会ならびに関係の皆様に心より感謝申し上げます。

以下、報告します。

1 本会の目的ならびにテーマ

- (1) 趣旨 高校生の健康な体とたくましい精神を育成するために、校内の全職員の共通理解、さらに学校と家庭、地域社会の連携による学校保健・学校安全のあり方や、その実践活動上の諸問題について研究協議を行い、学校保健の充実を図る。
- (2) テーマ 「高校生の心身の健康を考える」

2 期日・会場 平成30年1月26日(金) グランメッセ熊本

3 参加者 学校長・副校長・教頭・主幹教諭・保健主事・養護教諭・教諭 学校医・学校歯科医・学校薬剤師・PTA

4 内容

(1) 表彰式

永年にわたり、高等学校保健会活動に御功績のあった8人の先生方の表彰を行った。

- 学校医 飯星 元博 (熊本北高等学校)
- 学校医 坂本 安弘 (第二高等学校)
- 学校医 鶴田 昭 (信愛女学院高等学校)
- 学校医 友永 和宏 (多良木高等学校)
- 学校医 横田 三郎 (八代農業高等学校泉分校)
- 学校医 高田 大起 (球磨中央・球磨商業高等学校)
- 学校歯科医 松本 文隆 (宇土高等学校)
- 学校薬剤師 近藤 敦子 (済々黌高等学校)
- 元校長 川上 修治 (済々黌高等学校)

(2) 説 明 演 題「性暴力被害者のためのサポートセンター『ゆあさいど』」

講 師 公益社団法人くまもと被害者支援センター 波口 恵美子 氏

(3) 講 演 演 題「2019年 そして・・・次のドアへ」

講 師 済生会熊本病院 救急総合診療センター医長 杉山 真一 氏

(4) 講演・演習 演 題 「高校生のみでいる世界」

～世代間の健全なコミュニケーションのためのリフレーミングのススメ～

講 師 国際理解教育NGO 学校から世界のミカタを考える会代表 糀 広大 氏

まとめ

今年度は、最初に、子どもの性被害の深刻さが次第に明らかになってきている実態を踏まえ、「ゆあさいどくまもと」から講師を招き、子どもの性暴力被害の実態について理解しました。被害者心理を理解し、適切な対応、二次被害を防止する等という目的の元、学校として、保護者としての関わり方について学びました。講師派遣の具体例も示して頂きました。

午前の後半は、「2019年 そして・・・次のドアへ」と題して、2019年に本県でも開催されるラグビーワールドカップについて、医師としての立場から見えてくる事を済生会病院救急総合診療センター医長の杉山真一先生に御講演を頂きました。選手の救急搬送については、参加者数人と実践シミュレーションをする等、有意義な研修となりました。また大会後のレジェンドとして大切な事は、やはり人であると結ばれ、好評の内に講演が終了しました。

午後からは、国際理解教育NGO 学校から世界のミカタを考える会代表の糀広大先生をお招きし、「高校生のみでいる世界」という演題で講演をして頂きました。世界のお弁当を見ながら、またお弁当の中身を考えたり、参加者同士で意見を話し合う等の、先生のユニークな語り口から、リラックスしながら会が進行して行きました。子供やパートナーに対して発した言葉が、相手にどう影響を与えるか等の事例から、アクティブラрисニングの手法を学びました。また、テーマでもある、コミュニケーションについての、グループワークをとおして相手を思う心の大切さを学ぶことが出来ました。

最後に、今回の高等学校保健研究協議大会が御参加して頂いた方々の力になることを祈念いたしまして結びといたします。

高等学校保健会養護教諭部会の1年をふりかえって

熊本県高等学校保健会養護教諭部会 宮本 千夏

今年度は、平成28年熊本地震の際に、各学校の養護教諭が実際に果たした役割や取組について共有したりうえで、記録の集積や課題の整理を主なテーマにして研究をすすめました。

夏の研究協議会では、「非常災害時における養護教諭の危機管理意識の向上」を学ぶ機会と位置付け、下記のように、実践発表・講演・演習と一貫した内容で企画しました。講演においては、講師に兵庫県立舞子高等学校の和田茂先生を迎えて、阪神淡路大震災後の兵庫の防災教育等についてお話をいただきました。演習では、防災教育教材の「クロスロード」を活用し、災害対応を自らの問題としてアクティブに考えるための研修を行いました。また、各地区でも様々な健康課題に対して研究テーマを設け、年3回の研修会を開催し、講師招聘、グループディスカッション、演習等を通して学びを深めています。

1 養護教諭研究協議会

教育委員会講話 熊本県教育庁体育保健課 指導主事 橋爪昭子 先生

実践発表「災害等発生時における養護教諭の役割について～熊本地震時の取組をとおして～」

発表者 熊本県立甲佐高等学校 有働美保子 養護教諭

「本校における熊本地震後の取り組み～心のケアを中心に～」

発表者 熊本学園大学付属高等学校 瀬戸口智恵子 養護教諭

「経験からの学びを仲間で共有していこう～熊本地震における対応から～」

発表者 熊本県立第二高等学校 村上幸 養護教諭

熊本県立阿蘇中央高等学校 小島慶子 養護教諭

講演・演習 演題「兵庫の防災教育とボランティアについて」

講師 兵庫県立舞子高等学校 環境防災科科長 和田 茂 先生

2 地区研究テーマ

熊本市 いつも、いつかも役立つ保健室防災準備

熊本市私立 生徒理解を深めるために～今後の支援を検討する～

荒玉 健康診断の結果を活用したよりよい健康教育のあり方について

菊鹿 生徒の健康課題解決に向けた養護教諭の効果的な関わり方

城東 震災後の生徒への心のケアについて

宇城 災害時の救急処置や備えについて

天草 地域と連携した健康教育

城南 よりよい健康診断の実施をめざして～歯科保健について～

人吉・球磨 自立に向けた健康教育のあり方について～地域との連携を中心に～

高等学校保健会養護教諭部会活動状況						
組織と構成	部長	職名	養護教諭	連絡先	名 称	熊本県立熊本工業高等学校
		氏名	宮本 千夏		所在地	〒862-0953 TEL096-383-2105 熊本市中央区上京塚町5番1号
	現在の役員構成	部長 1名 副部長 2名	専門委員 9名 監事 2名			
	平成29年度予算	予算総額 1,018,808	養護教諭あるいは学校 1校当たりの額 2,500円	児童生徒拠出の負担区分 (○で囲む)		<ul style="list-style-type: none"> ・全額公費負担 ・公費と保護者負担 ・全額保護者負担 ◎その他(養護教諭個人負担)
平成29年度努力目標	豊かな心をもち、健康的なライフスタイルを実践できる生徒の育成		努力点	児童生徒の保健管理、保健指導に関して、健康教育の進め方や実践上の諸問題について研究協議を行い、生涯にわたり健康的な生活ができる児童生徒の育成に努める。		
平成29年度の主な事業のあらまし	会議 研修会等	No.	事業名	月 日	場所	主な内容
	会 議	1	第1回専門委員会	5月12日	熊本工業高校	事業計画・予算案審議他
		2	第2回専門委員会	9月22日	熊本工業高校	養護教諭研究協議会反省、その他
		3	第3回専門委員会	平成30年 2月16日	熊本工業高校	事業・決算報告と事業・予算案審議他
		4	養護教諭地区部会	年3回	各地区	専門委員会報告 地区研究及び研修、健康教育の推進を図る
	研修会	1	養護教諭研究協議会	8月4日	熊本県歯科医師会館	教育委員会講話・実践発表・講演・演習
	その他の事業		部会誌発行	2月	担当 天草地区	年1回発行 各種大会報告、地区活動状況報告
平成29年度の研修会やその他で招聘・依頼した外部講師と演題(予定も含む)	○熊本県高等学校保健会養護教諭研究協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・「兵庫の防災教育とボランティアについて」 兵庫県立舞子高等学校 環境防災科科長 和田 茂 先生 ○第2回荒玉地区部会 <ul style="list-style-type: none"> ・「運動機能低下と学校健診」 荒尾市民病院診療技術部 理学療法士 日野賢司 先生 ○第2回菊鹿地区部会 <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの非行・犯罪の防止について」 熊本少年鑑別所 首席専門官法務教官兼法務技官 高橋智晃 先生 ○第2回天草地区部会 <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て支援課の取組について」 天草市役所 子育て支援課 小川先生・江口先生 ・「天草Webの駅のしくみとHP作成について」 天草市役所 情報政策課 岩本先生・田中先生 ○第2回宇城地区部会 <ul style="list-style-type: none"> ・「パワーアップ！救急処置～三角巾を用いた処置と窒息の解除法～」 熊本大学教育学部 佐藤伸子先生 ○第2回人吉球磨地区部会 <ul style="list-style-type: none"> ・「歯周病が及ぼす全身への影響」 八代農業高校 学校歯科医 水上正太 先生 					